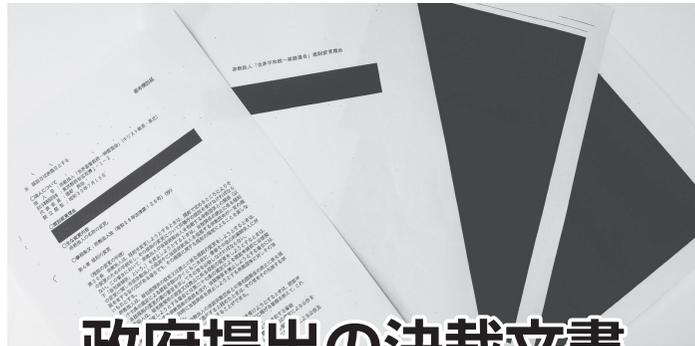


安倍政権下 旧統一協会の名称変更

理由黒塗り



政府提出の決裁文書

旧統一協会の名称を世界平和統一家庭連合と変更した問題で、宗教法人を所轄する文化庁（文部科学省の外局）は、名称変更を認めた際の決裁書を提出（7月26日付）しましたが、名称変更理由の部分はすべて黒塗り。提出を求めた日本共産党の宮本徹衆院議員は不当な情報隠しであり、すぐに公開すべきと強く求めています。

宮本氏によると、黒塗りにした理由について政府側は、公にすることで同協会の「正当な利益を害する恐れがある」と説明したとい

います。名称変更の申請日は2015年6月2日、認証日は同年8月26日。名称変更をめぐるのは、担当の文化庁宗務課が1997年ころから変更申請を拒

否していましたが、安倍晋三政権下の2015年に突然、申請を受理・認証しました。文化庁は当時、下村博文・文科相へ認証前に説明していたことが明らかになっています。

旧統一協会の靈感商法は、2009年ころ捜査当局が相次いで摘発。被害者らは名称変更が新たな被害を生むと懸念を表明していました。

旧統一協会が申請した名称変更の理由などを黒塗りにした文化庁の決裁文書「しんぶん赤旗」提供

折り目



核兵器禁止の流れを前へ



広島市・原爆ドーム

非核・平和、改憲ストップを

広島・長崎への原爆投下から77年。ロシアがウクライナ侵略を続け、プーチン大統領が核で威嚇する緊迫した情勢の下で投下の日を迎えます。

一方、核兵器禁止条約の批准国・地域は66に増加。6月下旬にウィーンで開かれた条約の1回締約国会議では「あらゆる核の威嚇を明確に非難する」「私たちは楽観主義と決意を持って前進する」との宣言を採択、「核なき世界」へ希望を示しました。

唯一の戦争被爆国である日本がオブザーバー参加すら

拒否したことは、大きな失望と批判を招きました。

原水禁世界大会 4日から

今年の原水爆禁止世界大会は8月4日から9日まで被爆地・広島、長崎を中心に開かれます。大会では、とりわけ核兵器使用と威嚇を絶対に許さないことをアピールし、大軍拡・核共有の流れをストップさせる運動の交流も行われます。この夏、非核・平和、改憲ストップの声を大きく広げましょう。

日本共産党

しんぶん赤旗

日刊
(毎日配達されます)
月3,497円

日曜版
(毎週配達されます)
月930円

お申し込みは
お近くの党事務所か
党員までお願いします

近畿民報

2022年8月 No.1 (第511号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。